

# さきたま

第156号

平成26年11月1日  
発行

公益社団法人 埼玉県鍼灸師会  
会長 河原保裕

事務所

〒330-0802 埼玉県さいたま市大宮区宮町2-3-1  
第2大矢部ビル 2F東  
TEL 048-645-0416  
HPアドレス <http://saitama.harikyu.or.jp>  
事務所メールアドレス [saishinkai@gold.ocn.ne.jp](mailto:saishinkai@gold.ocn.ne.jp)  
(広報委員長) 大谷尚子  
(編集委員長) 阿部琴美

## 行事予定表

- 11月  
3日(月・祝) 治療院見学会  
16日(日) 第2回臨床研・第3回学術講習会  
23日(日) 療養費等適正運用個別指導会  
30日(日) 全日学関東支部講座
- 12月  
21日(日) 療養費等適正運用個別指導会

## 平成26年度 健康まつり、マラソン大会等予定表

普及委員長 長谷川賢司

平成26年度にボランティア参加を予定している健康まつり・マラソン大会です。ぜひご来場ください。

日時	主催名	場所
11月1日(土) 10:00~15:00	春日部市社会福祉協議会 主催 健康まつり	春日部市総合体育館 「ウィングハット」
11月2日(日) 10:00~16:00	浦和区健康まつり	浦和パルコ 10階 浦和コミュニティセンター
11月2日(日) 10:00~14:00	川越市健康まつり	川越市総合保健センター
11月9日(日) 9:30~15:30	所沢市健康まつり	所沢市保健センター
12月7日(日) 未定	春日部市健康フェア	東武地域振興ふれあい拠点施設 「ふれあいキューブ」
12月7日(日) 7:30~13:30	所沢シティーマラソン	西武ドーム
12月7日(日) 8:00~12:00	川口マラソン ランナースケア	青木公園 陸上競技場

## 平成26年 第2回学術講習会報告

平成26年9月14日(日)

於 さいたま市民会館おおみや 第5集会室

平成26年度第2回学術講習は「内科診療と鍼灸治療」をテーマに2名の先生にご講演いただきました。

### 「内科診療に併用する鍼灸治療の可能性」

明クリニック院長 郷家 明子 先生

私は医師の免許を取得したのち、台湾で5年間、中国医学と鍼灸治療を学んできました。

台湾での鍼灸は中醫師が行います。中醫師になるには中医の大学を卒業した後、国家試験に合格しなければなりません。

中医の診察は漢方の処方と鍼灸治療を行う事が多く、診察後に20分ほど鍼します。

台湾での鍼治療は健康保険が適用となる事が多く、毎回診察予約時に150元支払い、初診時に320点、再診時に210点(病院の多い台北・台中では1点が0.8元、病院の少ない台東では1点が1.2元)支払います。6回終了したら、また初診料金を支払い、それを繰り返します。外来のみでなく入院中でも脳梗塞・脳挫傷・化学療法などに健康保険で鍼治療をおこなっています。値段が安く鍼灸が受けられるのが台湾の特徴です。

台湾では「風邪をひきました。鍼灸をしてください」と言ってきますが、日本では「風邪をひいたので、鍼灸をお休みします」となります。大学病院や総合病院など西洋医学と中医学のどちらもやっている病院では併用して使っていることが多く見られます。鍼灸に対する考え方が違うようです。中医学の先生がまとめたところによると台湾では7割の内科疾患に鍼灸が用いられています。

鍼灸は主に五行を使った治療で、治療原則は1. 六淫が関与する場合はそれを取る、2. 通経治療、3. 大関節・胸部の滞りをとる、4. 局所治療を行います。病変の存在する経絡自体が弱っているので、関係する経絡を治療し、鍼の数を少なくして広く効かせています。



### 「糖尿病に対する鍼灸治療 —足病変とインスリン抵抗性に及ぼす影響—」

東京大学医学部付属病院リハビリテーション部鍼灸部門 粕谷 大智 先生



糖尿病は今や「国民病」とも言われている。日本で大多数を占める2型糖尿病は、遺伝子の誘因に加えて、過食や運動不足、ストレスなどがインスリン分泌不全とともにインスリン抵抗性を増し発症に至る。現代医学の進歩により、血糖コントロールの質が向上した現在でも、合併症を引き起こす患者は多く、下肢を中心とした痛みやしびれ感、末梢神経障害、失明や腎不全による透析療法などQOLの著しい低下を

強いられる患者は後を絶たない。糖尿病による視力障害(網膜症)は中途失明の原因の第1位であり、糖尿病による腎障害で透析療法を受ける患者は全透析患者の40%になる。

鍼灸治療は糖尿病に伴う種々の症状、具体的には倦怠感、糖尿病性末梢神経障害の痛みやしびれ感、透析性脊髄症や消化管機能障害などに一定の効果が期待でき、治療手段として用いる価値があると思われる。

糖尿病性神経障害、循環障害(閉塞性動脈硬化症)の鍼治療は痛みの閾値の変化や末梢循環改善を目的としている。置鍼や鍼通電を行い、患者が訴える痛みやしびれ感の部位を支配している末梢神経を刺激する。最も症状が多い足裏から足先のしびれ感には、膝裏にある委中穴を用いる。

2型糖尿病の病態の中心はインスリン抵抗性である。実験結果から運動療法に鍼治療を併用することでインスリン抵抗性を改善することが示唆され、骨格筋に対する鍼刺激は運動療法との併用により糖代謝能をさらに更新させる効果が期待できることが確認された。



(けんこう堂HPより転載)

## 平成26年度 第2回 臨床研究会・ 第3回 学術講習会のご案内

学術委員長 小俣 浩

### ■第2回 臨床研究会開催(会員及び育成学生会員限定・参加費無料)■

第2回臨床研究会を開催いたします。是非、ご参加いただきプロの技をご堪能ください!

日時:平成26年11月16日(日)午前10時30分~12時  
(10時より受付開始)

会場:さいたま共済会館602号室

演題:「私の得意治療」 浦和地区 今井 幸司 先生

### ■第3回学術講習会■

日時:平成26年11月16日(日)午後1時30分~午後4時45分  
(午後1時より受付開始)

会場:さいたま共済会館602号室

テーマ:「鍼灸治療と統合医療」

演題:「統合医療におけるサプリメント・機能性食品の適正使用に向けて」  
健康科学大学 教授 蒲原 聖可 先生  
「経絡鍼灸治療の真髄」  
経絡治療学会 会長 岡田 明三 先生

参加費:会員2,000円 育成学生会員500円 一般5,000円  
一般学生2,000円 従業員3,000円

\*当講習会は(財)東洋療法研修試験財団の生涯教育研修制度認定講習会です。  
連絡先:(社)埼玉県鍼灸師会 学術委員長 小俣 浩

埼玉医科大学 東洋医学センター  
Tel&Fax 049-276-2108、  
または 049-276-2113  
E-mail: [homata@saitama-med.ac.jp](mailto:homata@saitama-med.ac.jp)



## 全日本鍼灸学会 第33回関東支部学術集会

日時:平成26年11月30日(日) 9:55~17:35

会場:東京大学医学部2号館本館 3F大講堂(東京都文京区本郷7-3-1)  
[http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01\\_02\\_03\\_j.html](http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_02_03_j.html)

### テーマ:「がんと鍼灸」

10:00~11:30 一般口演

13:00~14:10 市民公開講座(参加費無料)

「繁殖終えたら「死」を視野に〜がんで死ぬのも悪くない〜」  
社会福祉法人 同和園附属診療所 所長 中村 仁一

14:20~16:20 シンポジウム

「〜癌と鍼灸、現状と今後の展開を探る〜」

明治国際医療大学臨床鍼灸学講座(内臓機能系鍼灸学)准教授 福田 文彦  
福島県立医科大学会津医療センター漢方医学講座 准教授 鈴木 雅雄  
埼玉医科大学東洋医学センター 小内 愛  
青森県立中央病院緩和医療科 部長 嶋 元弘

16:25~17:35 教育講演

「癌患者に対する化学療法の前線」

昭和大学医学部内科学講座腫瘍内科 教授 佐々木 康綱

参加費:会員:3,000円 一般:5,000円 会員学生:1,000円 一般学生:3,000円

連絡先:第33回(公社)全日本鍼灸学会関東支部学術集会 事務局 阿部洋二郎  
〒360-0162 埼玉県熊谷市村岡36-2 あらい鍼灸院  
TEL&FAX:048-598-4993  
e-mail: [twrjm393\(@\)ybb.ne.jp](mailto:twrjm393(@)ybb.ne.jp)

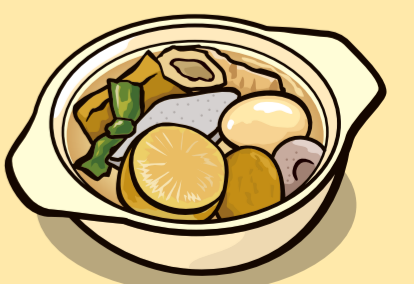
## 旬の食べ物を食べて元気になるう!

寒さも少しずつ厳しくなってきた今日この頃、おでんなどの温かい食べ物が恋しくなってきましたね。今回はそんな寒い時期の定番、おでんに欠かせない「大根」についてです。大根はおろしてよし、煮てよし、漬けてよし、焼いて大根ステーキなんて食べ方もあります。

大根の栄養素として、豊富なものにビタミンCがあげられます。ただし、中心部より表面の皮の近く方が約2倍多く含んでいるそうなので、なるべく皮はむかずに食べた方がいいとされます。ですがおでんの種で皮つきは難しいので、皮は薄く剥いて下ゆでして灰汁をとって食べるというでしょう。皮の部分も細かく切って油揚げなどときんぴらにすると美味しいです。また、葉には根より多いビタミンCが含まれているほか、根には含まれていないビタミンA(カロチン)も多く含まれています。ビタミンB1、B2、カルシウム、ナトリウム、リン、鉄などの成分も含んでいるので、葉っぱも捨てずに味噌汁に入れたりふりかけにしたりして食べましょう。

そして根にはジアスターゼという消化酵素が多く含まれている為、胃腸の働きを整えてくれます。お餅からみ餅があるのはとても理に適っている訳です。また、胃酸の中和作用もあるので、ゲップ、胃のもたれ、胸やけなど胃酸過多の諸症状を改善してくれます。ビタミンCは肝臓の働きを高めてくれますので、二日酔いでスッキリしない時は大根をすりおろして飲みましょう。

昔から大根飴としてのどの炎症や咳止めとしても重宝されています。これから風邪をひきやすい時期ですので、美味しい旬の大根を食べて寒さに負けないで過ごして下さい。



協賛各社  
(順不同)

医道の日本社・ホシノ医療機器株式会社・ヨシダ商事・アフラック募集代理店 株式会社むらた・カナケン・セイリン株式会社・昭和エンタープライズ